

ライトレースロボットを作って、その周回タイムをみんなで競おう！

ミニマイコンカーラリーへの道



「ロボマガ」記者・城井田 勝仁

第7歩 競技会のコースを想定したクランクモードに挑戦だ！

ミニマイコンカー製作キット Vol.1

価格 7,300円

文化総研のホームページ (<http://www.bun-net.co.jp/>) から購入可能

プログラム転送用の通信ケーブル「通信用RS232Cケーブル(9Pプラグ付き)」は680円で別売り

購入に関する問合せ先

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4-112

札幌ABEビル2F

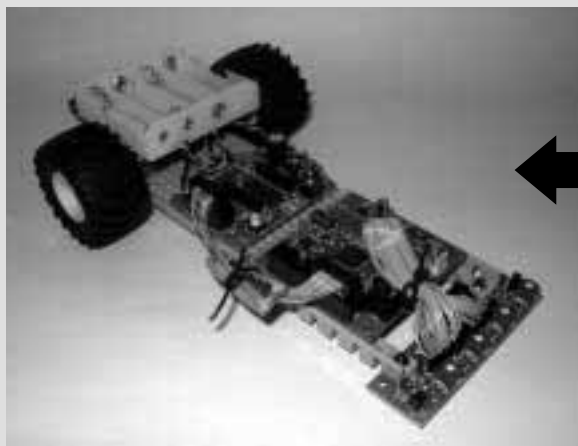
株式会社 文化総研 通信販売担当 塩崎明子

TEL : 011-204-7112 FAX : 011-204-7113

E-mail : bunaki@cronos.ocn.ne.jp

ミニマイコンカー製作キットは、ライトレースロボットによる全国規模のロボコン「ジャパンマイコンカーラリー」から生まれた。工作キットの形で提供されるので、ライトレースロボットの初心者でも気軽に挑戦できるのが特長だ。走行プログラムを作るビジュアルコントロールソフト「プロっくん1号」(Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP対応)も付属するから、Windowsパソコンさえ手元があれば、すぐにもマイコンカーラリーの世界に入ることが可能である。

ミニマイコンカー製作キットをマニュアルどおりに完成させると、このようになる。付属のWindowsパソコン用ソフト「プロっくん1号」を使えば、走行プログラムを作ることできる(別売りのプログラム転送用通信ケーブルが必要)



ミニマイコンカー製作キットには、パソコンとつなぐためのケーブルを除く、必要なすべての部品が含まれる。ハンダ付け作業は必要だが、CPUボードやラインセンサは完成品が付属するので、組み立ての難易度はそれほど高くない。

1. クランクマーカを見つけたら減速する？

ミニマイコンカーは、ライトレースロボットである。プログラムしたいでは、普通に走らせることもできるが、ラインをなぞるように走らせるのが本当の姿だ。そして、そのラインは市販の黒色ビニールテープで作ることができる。タミヤの「プラボ

ード2mm厚B4サイズ」(標準価格600円)などを敷き詰めた上に、一筆書きのように黒いビニールテープを貼り付ければ、簡単なテストコースができあがる。実際、これまでの連載ではその方法で緩やかなカーブや、クランク(直角カーブ)などの走行テ

ストを行ってきた。

本来の競技会で使われるのは、もちろんそうした簡易コースではない。ジャパンマイコンカーラリーで使われるものと同じコースが使われる。そのコースでは、クランクの1m手前に、走行ラインを直角に横切